

平成29年度模擬授業(出前授業)科目一覧

学部名 : 教育学部

No.	授業科目名	講師名	職名	学科等名	授業概要及び留意事項	担当可能曜日 ※ (長期休業期間を除く)
1	テレビ理解の心理学	村野井 均	教授	教育実践科学	学校でipadなどを使って映像を作り、見せる時代になった。映像の読み書きは、現代の基礎能力になっている。子どもはどの程度映像を理解することができるのか、アニメ「サザエさん」を通して説明する。	
2	催眠と説得 (催眠実習)	村野井 均	教授	教育実践科学	催眠は説得の一種であり、教育でもやる気やがんばりを引き起こすときに使われている。催眠がかかる理由を説明し、かける実習を行う。	
3	「教育」の見方・考え方	望月厚志	教授	教育実践科学	「教育」について考える基礎について説明する。	
4	学校教育を考えてみようー子どものイメージの変遷ー	小川哲哉	教授	教育実践科学	学校とは何かを考えてみましょう。授業では、子どものイメージ、教育的配慮などの起源や、近年問題になっているいじめや少年犯罪についても取り上げます。	
5	教育の“常識”を考える	佐藤 環	教授	教育実践科学	“常識”としての義務教育とは何かについて考察する。特に、近代学校制度創設以降、登校することが当たり前であると社会的に観念されていく歴史的過程を振り返り、現在の教育問題を捉え直す。	
6	自分を知る	三輪壽二	教授	教育実践科学	心理テストを体験してみましょう。それを通して、少しでも自分のことを知ることに繋がれば、と思います。	
7	心理学入門	渡部玲二郎	教授	教育実践科学	心理学とはどのような学問か、心をどのように研究していくのか、などについて基礎的な話をしようと思います。	
8	小中学校教員の仕事と課題	打越 正貴	准教授	教育実践科学	小学校や中学校の教員が実際に教育現場ではどのような仕事をどのようにしているかを説明し、現在の学校教育の課題についても考える。	前期:火曜日 後期:水曜日
9	学校の誕生とその役割	加藤崇英	准教授	教育実践科学	学校とは何か。日本の学校は誰がいつ作ったのか。	
10	描いて分かる心の動き	丸山広人	准教授	教育実践科学	心理学は心を研究する学問ですが、その心をどのように考えるかということがまず大切です。この講義では、絵を描くことによって、心や心理学を解説しようと思います。	
11	子どもの学びを考える	杉本憲子	准教授	教育実践科学	子どもたちは学校でどのようにものを見たり、考えたりして学んでいるのだろう。具体的な事例をもとに、子どもの学びの姿や教師のあり方について考えたい。	
12	「教育」の語源	青柳路子	准教授	教育実践科学	「教育」と聞いてどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。この授業では、私たちが用いる「教育」という言葉の成立と、その語源にある人々の営みをたどることで、みなさんの「教育」観を深めることを目指します。	前学期:火・水曜日 後学期:水曜日

13	学校の未来予想図: みんなが通える学校の条件とは？	照屋翔大	准教授	教育実践科学	私たちはなぜ学校に通うのでしょうか？または通わなければならないのでしょうか？学校の歴史や地域による違い、現在課題になっていることなどの検討を通して、これからの学校の在り方について一緒に考えてみましょう。	
14	日本語の変化	川嶋秀之	教授	国語教育	日本語の移り変わりを通して言葉の仕組みを考える。	
15	言葉の不思議	川嶋秀之	教授	国語教育	目に見えない言葉の意味の不思議を考える。	
16	日中比較妖怪学入門	増子和男	教授	国語教育	ろくろ首、のっぺらぼう、人魚等々。中国に源流を持つ妖怪について考える。妖怪を考えることは、それを考えた「人間」を考えることだ。	
17	「山月記」のルーツとは？	増子和男	教授	国語教育	中島敦「山月記」の原典である唐代の小説「人虎伝」を考えてみましょう。	
18	「千と千尋の神隠し」を妖怪学から眺めてみたら	増子和男	教授	国語教育	宮崎駿監督のアニメ「千と千尋の神隠し」のはじめの場面を手がかりに、「妖怪学」の角度からこれを考える。「妖怪学」とはそれを考えた人間を考える学問である。	
19	小学校・中学校の国語科授業について	昌子佳広	教授	国語教育	国語科の教材論や授業論、授業の実際についての講義・演習。	
20	絵本を読む	昌子佳広	教授	国語教育	絵本作品をとり上げ、絵本というメディアの特性に鑑みた読みのあり方について講述する。	
21	手で文字を書くことについて	齋木久美	教授	国語教育	手書き文字について考える。	
22	教科書の中の言葉	鈴木一史	准教授	国語教育	教科書の中に使われている言葉を、量で計ってみよう。「羅生門」に使われている動詞や形容詞はいくつ？その関係は？文章の新しい読み方ができるかも。	
23	ワールド・カフェ	鈴木一史	准教授	国語教育	初めての人と話すことは勇気がいる。でも楽しい。楽しい会話が生まれるワールド・カフェを体験します。ワールド・カフェは新しい話し合いの方法です。一つのテーマに沿って、メンバーを交換しながら少人数で話し合っていきます。	
24	近世絵図の世界	小野寺淳	教授	社会科教育	世界図、日本図、国絵図(国単位に作成された江戸時代の国土基本図)や城下絵図について平易に解説します。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
25	江戸時代の街道	小野寺淳	教授	社会科教育	江戸時代の水戸街道や岩城相馬道を取り上げ、街道の推定ルート、参勤交代や宿場町について紹介します。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
26	授業と教師	木村勝彦	教授	社会科教育	社会科の授業を事例に教師はどのような姿勢で授業に対すべきか、また授業に用いる「教材」(=材料)をどのように考えるべきかについて検討する。	前学期:金曜日 後学期:金曜日
27	教科書をてがかりに社会科教育について考える	村山朝子	教授	社会科教育	国内外、新旧の社会系教科書の内容を紹介しながら、社会科教育の目的や内容について検討します。	前学期:月曜日 後学期:月曜日

28	オランダの社会	大島規江	准教授	社会科教育	政治・経済的統合が進展するヨーロッパの小国オランダを紹介します。	前学期:木・金曜日 後学期:木・金曜日
29	江戸時代の村と女性	千葉真由美	准教授	社会科教育	江戸時代の村でたくましく生きる女性たちのすがたを、画像史料なども用いながら具体的に紹介します。	前学期:木曜日 後学期:なし
30	十字軍運動を再考する	藤崎衛	准教授	社会科教育	近年の研究状況をふまえ、ヨーロッパ・イスラーム・モンゴルの複合的視点から十字軍をとらえなおします。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
31	アメリカ文化	君塚淳一	教授	英語教育	ハリウッド映画、アメリカン・ポップカルチャー(音楽、大衆文化)、アメリカ文学など。	
32	英語音声学	猪井新一	教授	英語教育	英語の発音のしくみについて、日本語の音声と比較しながら学びます。	
33	湖水地方と英文学	小林英美	教授	英語教育	英国湖水地方を活動の場とした19世紀の詩人ワーズワスや絵本作家ポターの作品を鑑賞し、現代に通じるその自然観を考察します。映像、画像も使用します。	
34	シェイクスピアとその時代の歴史と文化	小林英美	教授	英語教育	16世紀イングランドの詩人・劇作家であるシェイクスピアの魅力を、作品の概説と映像を用いて説きます。	
35	英語科教育法	齋藤英敏	准教授	英語教育	英語の絵本の音読を通じた実践演習で、英語の授業での基本的指導方法について考えます。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
36	算数の誤概念	小口祐一	教授	数学教育	算数に関する児童の誤概念について考える。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
37	行列の話	梅津健一郎	教授	数学教育	行列を用いて現象を説明する。	前学期:木曜日 後学期:木曜日
38	パズルと数学	松村 初	准教授	数学教育	様々なパズルの裏にひそむ数学的背景について解説します。	前学期:火・水曜日 後学期:火・水曜日
39	魔方陣と幾何	栗原博之	准教授	数学教育	n進数、オイラー方陣、ラテン方陣と奇数次の魔方陣との関係を解説する、時間があれば偶数次の魔方陣には幾何学を用いてほとんどの魔方陣を作ることができることを紹介する。	前学期:木曜日 後学期:月曜日
40	群論入門	吉井豊	准教授	数学教育	対称性を記述するための道具である「群」を、多角形や多面体を用いて解説する。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
41	小学校理科の物理 :「支点」の“視点”から力のつり合いを考える	矢島 裕介	教授	理科教育	小学校の理科で学んだ力のつり合いの学習内容を思い出すことから始めて、力の諸性質、および力のつり合いやその安定性の条件を考えます。大学の力学の授業における「剛体の平衡条件」に相当するテーマを、数式は使わずに説明します。	前学期:応相談 後学期:応相談
42	花火の科学	松川 覚	教授	理科教育	茨城といえば花火技術日本一です。その花火について、音、色等の仕組みを多彩な演示実験と共に学んでいきます。	前学期:応相談 後学期:応相談

43	食とエネルギー問題	松川 覚	教授	理科教育	現在の食のあり方は環境に負荷を与えています。この授業では「フードマイレージ」「バーチャルウォーター」「LCA」などに着目して食の環境負荷について学んでいきます。	前学期: 応相談 後学期: 応相談
44	プラスチックと科学	松川 覚	教授	理科教育	我々の身の回りにあるプラスチック、それらがどのようにして作られているのか？どのような性質を持っているのか？リサイクルはどうなっているのか？ 演示実験と共に学んでいきます。	前学期: 応相談 後学期: 応相談
45	原子は実在するか	青島政之	准教授	理科教育	現代では原子・分子の存在を疑う人はいません。しかしその実在が認められたのは、わずか100年ほど前のことにすぎません。この授業では、原子の存否をめぐる科学者達の長い長い論争の歴史を通して、「なぜ原子が実在すると言えるのか」について考えます。	前学期: 応相談 後学期: 応相談
46	素粒子の話	永尾 敬一	准教授	理科教育	素粒子論について、その基本的な考え方から最新の話までをパワーポイントを用いて説明する。	前学期: 応相談 後学期: 応相談
47	恐竜を考える	上栗伸一	准教授	理科教育	恐竜とはどんな生き物だろう。その骨格から恐竜の生態を考えよう。	前学期: 応相談 後学期: 応相談
48	音楽科教育	田中健次	教授	音楽教育	学校で「音楽」を学ぶ意義について解説する。	
49	音楽史	神部 智	教授	音楽教育	近・現代における西洋音楽の歴史を、DVDやCD等を鑑賞しながら概観する。	
50	合唱の楽しさを味わおう	藤田文子	准教授	音楽教育	合唱の楽しさを味わうことをねらいとする。その際、発声・詩の解釈・のぞましい表現などを通して合唱とは何かを探っていく。	
51	声楽	谷川佳幸	教授	音楽教育	正しい発声とは何か、音楽表現について実技を中心に授業する。	
52	君に情景は見えるか？ ー 標題音楽についてー	山口哲人	准教授	音楽教育	「音楽は全世界の共通語」とよく言われますが、はたして本当でしょうか？ 描写音楽の名曲をタイトルを伏せて聴き、どんなシーンか想像してみましよう。クイズ形式で行う楽しい授業です。	
53	デッサンの基礎	島剛	教授	美術教育	美術の全領域にわたって必要な造形表現能力の前提となるデッサン力について、その必要と意味を考え、生徒作品や参考作品を講評する。	
54	スポーツ情報科学の現状	勝本 真	教授	保健体育	現在のスポーツにおいて、様々な情報をどのように収集し、活用している現状を解説し、今後の課題を考える。	
55	体育の教授練習	吉野 聡	准教授	保健体育	体育指導を想定し、指導計画を作成したり実際の教授(マイクロティーチング)を体験したりして、体育指導の楽しさや難しさを体験的に学習する。	
56	健康科学	上地 勝	准教授	保健体育	健康は空気のようなもので、普段は特に意識することは無いが、病気やケガをして、初めてそのありがたさが分かる。この授業では、ワークショップ形式で健康について考えていく。	

57	スポーツ医学 (内科領域)	上地 勝	准教授	保健体育	運動やスポーツは一般的に体に良いと言われるが、方法を間違えると逆に悪影響を及ぼす。この授業では、スポーツを行っていく上で、基本的な内科的医学知識(免疫系, 内分泌系, 循環器系など)について概説する。	
58	ボディワーク	上地 勝	准教授	保健体育	自分の身体を自由に動かすことは、簡単そうで意外と難しい。この授業では、様々な動きに挑戦することによって、自分自身の身体について見つめ直し、コントロールする”コツ”を学んでいく。	
59	スポーツ医学 (外科領域)	富樫 泰一	教授	保健体育	運動やスポーツは一般的に体に良いと言われるが、方法を間違えると逆に悪影響を及ぼす。この授業では、スポーツを行っていく上で、基本的な外科的医学知識(筋骨格系など)について概説する。	
60	コンピュータの基礎を学ぶ論理回路実習	工藤雄司	教授	技術教育	電子部品を差し込むと回路が完成するブレッドボード実験セットを使用して、簡単な論理回路実習を行いコンピュータの基礎にふれる。(テーブルタップが必要になります)	前学期:なし 後学期:月・火・金曜日
61	材料・構造の力学入門	野崎英明	教授	技術教育	ものに力が加わると内部にはどのような力が発生し、またどのように変形するのか・・・機械や建築物の設計の際に必須となる材料力学, 構造力学の初歩を解説する。	前学期:木曜日 後学期:月・火・金曜日
62	Q=CVを味わう	榑守	教授	技術教育	各自で実験してみます。この実験の後、物理に親しみを持てるかもしれません。	前学期:月・火・水曜日 後学期:月・火・水曜日 (夏、冬休み期間は全曜日可能)
63	技術とものづくり	臼坂高司	准教授	技術教育	技術とは何か? 科学とは何が違うのか? について概説する。	前学期:金曜日 後学期:火曜日 (夏休みなどの長期休業中は、会議や出張がなければ可)
64	技術科の教育を考える	大西 有	准教授	技術教育	中学校の技術科の学習内容を思い起こし、指導計画を作成したり実際の教授(マイクロティーチング)を体験したりして、指導の楽しさや難しさを体験的に学習する。	前学期:火・水曜 後学期:火・水曜 (夏、冬休み期間は全曜日可能)
65	衣の環境学	木村 美智子	教授	家政教育	人は、衣服という人工的環境を作ることによって自然環境や社会環境に適応している。衣と環境との関わり方について考える。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
66	大震災から学ぶ住まいの安全と地域の安全	乾 康代	教授	家政教育	大震災と原発事故により茨城県内で受けた被害がどのようなものだったかを確認し、今後の災害の備えについて、住まいの安全、地域の安全という2つの観点から考える。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
67	子育て支援の利用	数井 みゆき	教授	家政教育	子どもを取り巻く環境が厳しくなっている。児童虐待と貧困はその最たるものである。子育て支援を利用することで、どのように問題を解決していくのかについて学ぶ。	前学期:水曜日 後学期:水曜日
68	生活スキルと生活資源の活用	野中美津枝	教授	家政教育	よりよく生きるとはどういうことか、日々の生活問題を解決するための生活スキルと生活資源について学ぶ。	前学期:月曜日 後学期:水曜日

69	家族の過去・現在・未来	佐藤 裕紀子	准教授	家政教育	家族の歴史的変容過程や諸外国の家族の生活について学ぶことにより、通時的・通文化的に家族について理解し、家族とは何か、これからの家族はどうあるべきかを考える。	前学期:月曜日 後学期:月曜日
70	食生活と健康	西川 陽子	准教授	家政教育	近年食の外部化が急速に進み、コンビニエンスストアをはじめ外食中食の利用が増えています。そのような中、自身が食べているものについてどこまで理解しているかを問い、自身で食物選択することの重要性について考えます。	前学期:水曜日 後学期:水曜日
71	食文化と地域	石島 恵美子	准教授	家政教育	修学旅行の行き先での食文化の理解を深めることをとおして、地域の食生活や人々の暮らしを考察し、現代の課題をグローバルに捉えるスキルを身につける。*人数や施設にあわせて、実習や試食を取り入れることもできます。(要:材料費)	前学期:月曜日 後学期:月曜日
72	特別なニーズと教育	荒川 智	教授	障害児教育	障害、不登校、文化的。言語的マイノリティーの子どもの教育的配慮について解説する。	前学期:金曜日 後学期:3Q:金曜日 4Q:木曜日(午前)
73	注意を測る	勝二博亮	教授	障害児教育	障害とも深く関わっている“目に見えない”注意を計測する方法について解説する。	前学期:月曜日 後学期:火曜日
74	障害者支援とバリアフリー	新井英靖	准教授	障害児教育	障害の疑似体験を通して、障害者支援のあり方を考える。	前学期:木曜日(午前) 後学期:木曜日(午前)
75	知能とは何か	細川美由紀	准教授	障害児教育	知能の捉え方について、特別支援教育と関連させながら解説する。	前学期:木曜日 後学期:木曜日
76	きこえと難聴	田原 敬	講師	障害児教育	音響学, 聴覚生理学, 聴覚心理学の視点から聴覚障害について解説する。	前学期:木曜日 後学期:木曜日
77	公害からみた社会	瀧澤利行	教授	教育保健	環境破壊の典型である公害の発生に際して、人間はどのように行動するかを通して、健康と社会の開発のあり方を考える。	前学期:なし 後学期:火曜日
78	事故からみた社会の安全	瀧澤利行	教授	教育保健	過去の大事故においてとられた人間の行動を通して、危機における社会の機能を考える。	前学期:なし 後学期:火曜日
79	感染症の歴史と社会	瀧澤利行	教授	教育保健	これまでの歴史の中でのエピソードを中心に、感染症がもたらした社会への影響と対策の歴史を考える。	前学期:なし 後学期:火曜日
80	ザ保健室!	齊藤ふくみ	教授	教育保健	勉強も部活も200%力を発揮できるように支援する保健室の秘密に迫る。	前学期:水曜日 後学期:水曜日
81	体重と肥満	廣原紀恵	教授	教育保健	体重を気にし、ダイエットに励む女性が多いですが、実は『隠れ肥満』もあります。体重だけでは、本当の肥満は評価できません。体重の意味を考えます。	前学期:木曜日 後学期:水曜日
82	生体リズムと健康	青柳 直子	准教授	教育保健	心身の健康と生体リズムには密接な関連がある。睡眠、シフトワーク、疾患発症などの事例を通して、健康を支える生体リズムについて学ぶ。	前学期:火・水曜日 後学期:水・木曜日
83	小児科医のお仕事	古池雄治	教授	教育保健	風邪や腹痛などで受診する小児科ですが、小児科医には様々な仕事があります。小児科医とはどのような仕事なのでしょう。その内容をお話します。	前学期:水曜日 後学期:水曜日

84	私たちの iPS 細胞と再生医療 (1)	石原研治	教授	教育保健	iPS 細胞と再生医療について、発見、山中伸弥教授のノーベル賞受賞、現在、そして未来についてその概略をお話します。	前学期:木曜日 後学期:月曜日
85	私たちの iPS 細胞と再生医療 (2)	石原研治	教授	教育保健	iPS 細胞と再生医療について、「iPS さいぼう BINGO」というビンゴ形式のゲームを使って、楽しみながら学んでみましょう。 「iPS さいぼう BINGO」は当教室で開発したものです。「私たちの iPS 細胞と再生医療 (1)」を実施した後の方が効果的かと思います。	前学期:木曜日 後学期:月曜日
86	私たちの iPS 細胞と再生医療 (3)	石原研治	教授	教育保健	これからはじまる再生医療について、事例をもとに未来の医療社会をみんなで話し合ってみましょう。 「私たちの iPS 細胞と再生医療 (1)」を実施した後の方が効果的かと思います。	前学期:木曜日 後学期:月曜日
87	フィールド科学入門	伊藤 孝	教授	人間環境	自然科学系の研究が、野外でどのように行われているか、写真等を用いて解説する。	
88	科学の現場としての野外調査	伊藤 孝	教授	人間環境	いろいろな科学する現場があります。ここでは野外を舞台とした調査・研究・生活の様子を紹介します。	
89	知識社会の時代に	郡司晴元	准教授	人間環境	遊びからも学べることがあること、そして見えてくることがあること、を体験学習する。	
90	環境の価値を測る	阿部信一郎	教授	人間環境	「自然環境を守ろう！」と言うけれど、私たちは、そもそも自然にどのように価値を抱いているのだろうか？ 環境の価値を計る方法を紹介し、私たちが自然環境を普段、どのように見ているのか考えたいと思います。	
91	人間と技術をつなぐ	関 友作	准教授	人間環境	いま、人間と技術がどのようにかかわっているのかを、製品についてくる取扱説明書(マニュアル)などを例にして、考えてみる。	